



2005 ITU Triathlon World Cup, Ishigaki
 2005 ITU トライアスロン ワールドカップ 石垣島大会
 2005 NTT Triathlon Japan Cup, 1st Stage
 NTT トライアスロン ジャパンカップ 第1戦
 15th May 2005



庭田清美(アシックス・ザバス)が2位、関根明子 (NTT 東日本・NTT 西日本) も3位に

2005ITU トライアスロンワールドカップ石垣島大会が、5月15日(日)、沖縄県石垣市の特設コースで行われた。女子は午後1時のスタート。ロレッタ・ハロップ(オーストラリア)がスイムを終始リードし、ニコル・ハケット(オーストラリア)、ローラ・ベネット(アメリカ)と続く。日本選手は庭田がスイム6位の好位置でバイクへ。中西真知子(NTT 東日本・NTT 西日本)は10位、関根は15位でトランジションに入った。

バイクでは、ハロップが逃げ続け、ハケットとベネットが第2集団で追う。庭田と中西は第3集団、関根は第4集団につけていた。

ランでは、第3集団と第4集団から追い上げた選手たちが先行するハロップ、ハケット、ベネットを次々とパス。第3集団から前へ出たサマンサ・ワリナー(ニュージーランド)じわじわと追い上げ、ITUワールドカップで初優勝を飾った。レース後ワリナーは、「いいコースで、曇りだったのが良かった。後ろから追い上げてくるランナーたちから逃げ切れてホッとした」と語った。

'97年の蒲郡大会、昨年の石垣島大会に続いて3度目の2位となった庭田は、「ランがきつかったけど、今年は最初から飛ばしていこうと思っていたのが良かった」とコメントした。3位の関根は、'00年の石垣島大会、'03年の蒲郡に続いての3位。関根は、「第4集団から追い上げて3位になったのが収穫」と話した。

午後3時45分にスタートした男子は、アンディ・ポッツ(アメリカ)がスイムトップ。平野司(関西大学)は2位でスイムを終え、後続は1分以内に33名が入る混戦模様となった。

6周回のバイクでは、回を重ねるごとに集団がふくらみ、そこから逃げる選手がいたがすぐに吸収されることを繰り返し、最終的にはディディール・ブロカー(スイス)を含む5名が最初にランへと移った。

ランでは、満を持していたように飛び出したハンター・ケンパー(アメリカ)とビクター・プラタ(アメリカ)、カートニー・アトキンソン(オーストラリア)が競り合いを続け、結局アトキンソンが2度目の石垣島大会の優勝を決めた。日本選手男子は、平野の13位が最高位だった。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧になれます。

